

スチューデント・カンパニー・プログラム（SCP）活動日記

日 時 7月2日（金）14時50～16時30分

場 所 会議室

活動状況

本年度から新しい取り組みとして、ジュニアチーブメント（JA）の経済教育プログラム「スチューデント・カンパニー・プログラム（SCP）」を導入し、アントレプレナーシップ教育をスタートさせた。

2年3組の生徒13名がこの趣旨に賛同し、6カ月間の会社経営に乗り出すことになった。本日は、ジュニアアチーブメント日本九州支部より、支部



長の濱井賢次氏をお招きし、オリエンテーションを実施した。濱井氏より、スチューデントカンパニープログラムの意義や運営方法について説明を受け、生徒同士の話し合いに移った。すでに代表者（社長）は、事前の話し合いで決定しており、本時は社名および会社理念の決定の場となった。RKKテレビの取材カメラや社外取締役をお引き受けいただいた熊本信用金庫様をはじめとする外部役員の方々に前に生徒の緊張はピークに達していた。意見を闘わすこともなく、いくつかでた社名案のなかからあっさりと多数決で社名を（株）ユディストと決定してしまった。これは専修大学玉名高校をイタリア語で表現したものだ



そうだが、少数意見はまったく無視された形になってしまった。また、会社理念の作成では、インターネットから引っ張ってきた立派な言葉が並べられ、さすがにこれではまずいという指導がジュニアアチーブメントの濱井様から入り、自分たちの言葉でもう一度考えるということにし、次回に再討議することにした。

集団で意思決定をするさいの最低限のルールや社長のリーダーシップ、社員の参

加意欲など多くの問題を抱えた船出となった。近年、若者のコミュニケーション能力の低下が指摘されることが多いが、自分の言葉で議論をして考えやアイデアを相手に伝え、それをもとにしてより発展した形での結論を導くというスタイルを今後身につけさせたい。